

あいコープ放射能自主測定ニュース

No. 67 2013年3月3回

生産者の取り組み —放射能対策をしています—

丸和食品株式会社

国産原料にこだわる作り手として
放射能対策も徹底します



東京電力福島第一原発の事故から、早2年が経過致しました。私たち丸和食品は国産原料にこだわる大豆加工食品メーカーとして、組合員の皆様に安全・安心な食品をお届けするべく、当日出荷する製品の全品目、原材料について、毎日放射性物質の簡易スクリーニング検査を行っています。専門機関へも、水(水道水、井戸水)は毎月1回、主要製品である豆腐、がんもどき、味付けいなり等製品は3か月ごとに1回、核種別に検査を依頼。主原料である大豆については入荷時に、その他の原材料についても産地、収穫年に限らず原則月に2回測定します。

今後とも組合員の皆様を守ること、おいしく安心・安全な食をご提供することを念頭に、製造をしていきます。



丸和食品社長
稲葉隆さん



丸和食品従業員のみなさん

■最新の自主検査結果 | 丸和食品提供

検査品目	Cs		測定日
	134	137	
成田工場井戸水	<0.71	<0.77	2012/11/30
練馬工場水道水	<0.76	<0.73	2012/11/30
原料大豆 23年北海道産	<1.7	<1.7	2012/9/18
原料枝豆 23年北海道産	<1.6	<1.6	2012/10/13
味付けび入京がんも	<1	<1.1	2012/11/12
ひじき京がんも	<1.4	<1.4	2012/11/12
京がんも	<1.6	<1.8	2012/11/12
味付けいなり	<0.99	<0.89	2012/10/17
きぬ豆腐	<1.2	<0.94	2012/10/17
もめん豆腐	<1.2	<1.2	2012/10/17